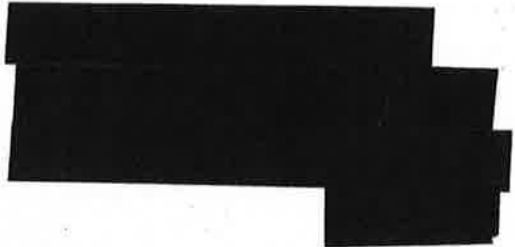


2020年 6月 25日

100年前「人種差別撤廃」を提案した日本のことを  
書いてある教科書の採択 に関する請願

町田市教育委員会教育長 様



(請願の要旨)

第一次世界大戦のパリ講和会議において、日本が国際連盟の規約の中に「人種差別撤廃」を提案しました。その事実を記載した教科書の採択を要望する。

(請願の理由)

1. 日本が世界に先駆けて国際会議(1919年パリ講和会議)の場で人種差別の撤廃を訴えたことは、多くの日本人の記憶に残しておくべき重要事項と思う。
2. 人権に関する今日の世界の現状を見ると、100年前の日本の提案を受け入れ進化を重ねれば、今日の混乱は避け得たものと考ええる。
3. 米国での警察官による黒人への暴行が問題とされている。新型コロナパンデミック世界では、アジア人への偏見に基づく行為も報道されている。
4. 日本の国際連盟規約の提案は「11 対 5」で賛成が多数を占めたが、国内の人種問題を心配する議長国アメリカの采配により「全会一致」の提案が通り、結局提案は不採用となった。
5. 町田市の生徒に「その当時の日本の提案と不採用の経緯」を教え、大人になって人類平等の世界構築に貢献できる人材に成長することを望みます。そのための教育に最適な教科書を採択していただきたい。

以 上